



HISTORY

スクロールグループの歩み

-マーケティングソリューションカンパニーへの軌跡-

80余年にわたる歴史のなかで、人々の豊かな暮らしづくりに貢献しながら事業形態を進化させてきました。近年では、グループ経営として事業ポートフォリオの見直し・拡充をすることで成長を続け、企業価値を向上させています。そして、これまで培ったノウハウを組み合わせ、新たなソリューションサービスとして提供し、真のマーケティングソリューションカンパニーへと進化してまいります。

1939

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

創業期

お客様のニーズに寄り添った、高品質なものづくりの力を持つ

ビジネスモデル構築期

品質と販売員を通じたサービスで、組織向け販売の礎を築く

カタログ総合通販期

ダイレクトマーケティング事業に必要な機能・施設を整備し、ノウハウを蓄積

複合通販企業変革期

グループインした子会社もつノウハウ・人材をグループの資産に

ソリューション事業推進期

培ったスキル・ノウハウをソリューションとして提供

MSCの中核事業

成長ドライバーとして、蓄積したEC・通販のノウハウをソリューションサービスとして提供。さらに、M&Aにより新たな機能・サービスを拡充し高度化するニーズに360度で対応しています。

ソリューション事業



1939年 武藤洋裁所創業

1954年 婦人会向けにトッパー販売

1955年 全国婦人会を対象にトッパーの直接販売を開始
オートバイで営業活動を実施

1967年 ランドセル販売開始
総合カタログの発刊

1971年 日本生活協同組合(生協)との取引開始

1972年 配送センター稼働

1977年 個人向け通販開始
総合カタログにて取扱商材を拡大

1980年 大型物流センター(現SLC浜松)を稼働

1986年 ミック(現スクロール360)設立

1989年 大規模物流センター(現SLC浜松西)を稼働

1990年 テレマーケティング代行サービス提供開始

1996年 インターネット通販開始

1999年 物流代行サービス開始

2008年 ムトウのソリューション事業をミックに統合し、ムトウマーケティングサポート(MMS)に社名変更

2009年 インターネットビジネスへの本格参入に向けてムトウからスクロールに社名変更

2009年 ソリューション事業専用物流センター SLC磐田稼働
MMSからスクロール360に社名変更

2006年 武藤系統信息咨询(現詩克業商貿)設立

2010年 武藤系統信息咨询(現詩克業商貿)設立

2013年 武藤系統信息咨询(現詩克業商貿)設立

2015年 SLC浜松西コスメ・サブリース稼働

2016年 スクロールロジスティクス設立

2017年 スクロールインターネット設立

2018年 マーケティング支援・海外越境ECサポート提供開始

2019年 SLC関西稼働

2019年 SVB開始
スクロールベトナム設立

2020年 SLCみらい稼働

2022年 ECサイト運用代行サービス(ECTACT)提供開始
SLC春日部・八王子コンタクトセンター稼働

2022年 ECサイト運用代行サービス(ECTACT)提供開始
SLC春日部・八王子コンタクトセンター稼働

2024年 多言語コミュニケーションサポート提供開始

2025年 Amazon運用代行サービス提供開始

真のマーケティングソリューションカンパニーへ

POINT 1 1939年~ ノウハウ構築

創業以来、縫製業を原点とし、消費者への直接販売、カタログ販売、そして個人向け通販など、多岐にわたる事業展開を通じて、今日の事業運営を支えるノウハウの蓄積や、システム・物流基盤を構築。

POINT 2 2010年~ M&Aによる事業ポートフォリオ拡充

新事業への積極的投資としてM&Aを推進し、事業ポートフォリオを拡充。カタログ総合通販から、EC・通販を基軸としたコングロマリットへと変革。

グループイン
2010年 イノバート(のちAXESへ吸収合併)
2012年 AXES
2017年 キナリ
2018年 ナチュラムトラベックスツアーズ
2019年 ミヨシ

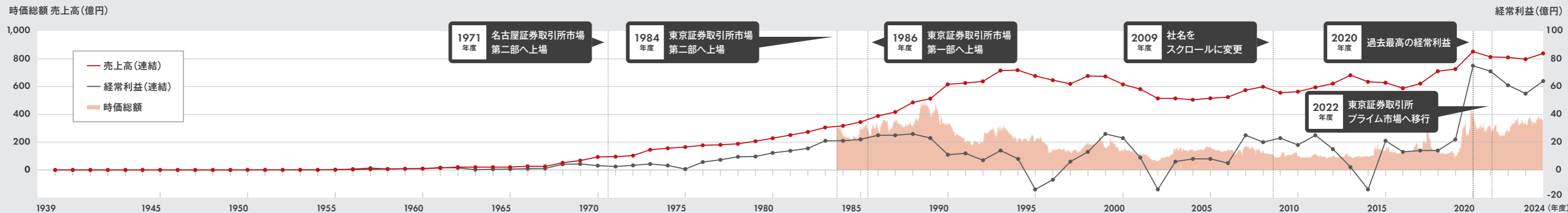
POINT 3 2013年~ ソリューション機能の拡充

M&A戦略の推進により、ソリューションサービスを提供する多様な企業がグループ入りし、EC・通販事業者を360度サポート。2023年度以降は、事業領域をB2CおよびB2G市場へと拡大し、マーケティングソリューションカンパニーへの進化を目指す。

グループイン
2013年 キャッチボール
2018年 成都インハナ もしも
2024年 ビーボーン
2025年 ZonExpert



業績と時価総額の推移





VALUE CREATION PROCESS

スクロールグループの価値創造プロセス

私たちスクロールグループは、社内外の多様な経営資本を基盤に、社会の発展に貢献する価値を生み出します。事業を通じた社会課題の解決に挑戦し、生み出した経済的・社会的価値を未来への投資として再び資本につなぎます。この価値創造の好循環を自らの手で力強く回し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を同時に達成してまいります。

PURPOSE (存在意義)	マーケティングソリューション事業を通じて、時代が求める豊かな暮らしづくりをサポートする。
VISION (展望)	人、社会、地球に、グッドライフカンパニーであること。



社会関係資本
全国の生協組合員様への展開基盤
グローバルなサプライチェーン
多様なアライアンスパートナー

製造資本
全国物流拠点: 総面積約66,000坪
コールセンター: 国内4拠点

人的資本
連結従業員数: 920名
連結子会社: 17社 (2025年4月末時点)
海外拠点: 5箇所

知的資本
ダイレクトマーケティングで
培ってきた知見・ノウハウ

財務資本(連結)
総資産: 560億円
自己資本比率: 65.1%
ROE: 12.2%

(2025年3月末時点)

真のマーケティングソリューション
カンパニー(MSC)へと進化

提供価値
↑
向上

機能・テクノロジー (追加) マーケット (挑戦)

グループシナジー ポートフォリオ経営

MISSION (任務)
マーケティングソリューションカンパニー(MSC)として、
多様かつユニークで、変化を恐れない事業体であり続ける

社は・経営理念

▶ pp.15-16 中長期ビジョン

▶ pp.1-2 スクロールフィロソフィ

顧客のニーズに応える
あらゆるサービス・商品を提案

- ソリューション**
 - 物流代行
 - 決済代行
 - BPO
 - マーケティング支援
- 通販**
 - 生協組合員様向け通信販売
 - アパレルソリューション
- eコマース**
 - 専門特化したインターネット通販
 - 防災用品の販売
 - 国内旅行の企画・販売
- グループ管轄**
 - 物流センター運営
 - 不動産の有効活用

▶ pp.19-24 事業戦略

マテリアリティ(重要課題)

<p>[事業を通じて解決する課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> より良い商品・サービスの開発を通して、豊かな暮らしづくりをサポートする 少子高齢化社会によって起こる社会問題の解決 環境負荷の低減 SCM強化による安心安全な商品提供 	<p>[事業の基盤となる課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> タスク・ダイバーシティ経営の推進 地域社会への貢献 コーポレート・ガバナンスの強化
--	---

▶ pp.13-14 重要課題

経済的価値	社会的価値
FY2029 定量目標	
連結純利益 60億円以上	お客様 豊かな暮らしの実現
ROE 15%以上	地球環境 脱炭素社会への貢献
総還元性向 60%程度	取引先 環境・社会問題を考慮した責任ある調達の実現
	従業員 多様な社員がいざいさと活躍できる職場環境の実現
株主・投資家 中長期的な企業価値の向上	地域社会 社員参加型活動による持続可能な地域社会への貢献



MATERIALITY

重要課題

当社グループを取り巻く外部環境の洗い出しおよびリスクと機会の把握によって、7つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。グループ体となってこれらの課題に取り組み、持続的な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

マテリアリティ	関連するリスクと機会 [●リスク ○機会]	指標と目標数値	2024年度の取組み
<p>より良い商品・サービスの開発を通して、豊かな暮らしづくりをサポートする</p> <p>付加価値のあるモノ・コト・サービスを適切な価格で提供し、豊かな暮らしづくりのサポートをすることが私たちスクロールグループの存在意義であり重要な課題でもあります。お客様の声に耳を傾けながら、毎日の暮らしに役立つ商品・サービスの企画や提案をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市場環境の不確実性の高まりによる需要変動 ● テクノロジー進化による既存ビジネスの優位性低下 ○ 新商品・サービス開発による新たな顧客層の開拓、新規ビジネスの開発 ○ テクノロジー活用による新たなソリューションサービスの提供 	<p>アパレル商材におけるSDGs関連商品構成率</p> <p>2025年度までに 50%</p> <p>2024年度実績 49.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsカタログ「つづくみらい」発行、SDGs関連商品の展開 ● 環境に配慮した商品開発の推進 ● 日本の伝統技能を継承する商品の拡充 ● 「つづくみらい募金」を通じた社会貢献活動(寄付の実施)
<p>少子高齢化社会によって起こる社会問題の解決</p> <p>人生100年時代といわれるなかで、人々が充実した生活を送ることができるよう、マーケティングソリューションカンパニーとして、事業活動を通じて少子高齢化社会に関わる諸問題の解決に向けた取組みを進めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内消費マーケットの縮小、成長機会の鈍化 ● 労働人口減少による働き手不足 ○ ヘルスケアニーズの高まりを受けた新規ビジネスの開拓 ○ 買い物困難者の増加によるEC・通販需要の拡大 		
<p>環境負荷の低減</p> <p>パリ協定や日本におけるカーボンニュートラル宣言など、世界中で気候変動への取組みは一層活発なものとなっています。当社グループにおいても、CO₂をはじめとするGHG排出量削減など環境負荷の低減を推進しながら、持続可能な社会の実現に貢献します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動関連の対応要請、法規制強化 ● 環境問題への対応不十分による企業の信頼性低下 ● 異常気象による生産活動への影響、季節商品の需要変動 ○ サーキュラーエコノミーに対応したビジネスモデルの構築 ○ 環境に配慮した製品・サービスの開発による新たな需要の開拓 ○ 省エネルギー化によるコスト削減 	<p>カタログ等における紙の使用量</p> <p>2030年度までに 25%削減 (2021年度対比)</p> <p>2024年度実績 12.2%削減</p> <hr/> <p>包装資材におけるプラスチック素材の使用量</p> <p>2030年度までに 65%削減 (2021年度対比)</p> <p>2024年度実績 31%削減</p> <hr/> <p>スコープ2におけるCO₂排出量</p> <p>2030年度までに 50%削減 (2020年度対比)</p> <p>2024年度実績 41.4%削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 効率的なカタログ配布の実施 ● 顧客に対するWEBカタログ利用の促進 ● タブロイド版カタログの紙資材の軽量化推進 ● 商品包装袋のプラスチック使用量を抑えた「STONE-SHEET®」への切替えを順次実施 ● 紙袋やバイオマス含有ブラ削減袋といった環境配慮素材の使用拡大 ● CO₂フリー電気の導入拡大 ● SLC浜松西の太陽光発電稼働開始 ● SLCみらいへの太陽光パネルの設置工事完了
<p>SCM強化による安心安全な商品提供</p> <p>近年消費者の商品・サービスの安心、安全性に対する意識はますます高まっています。取引先とともに環境、社会問題に配慮しながら責任ある調達を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質・安全機能の不安定化による社会的信頼の低下 ● 地政学的要因や自然災害によるサプライチェーンの混乱 ○ サプライチェーン全体最適化による効率性向上 ○ サプライチェーン追跡性向上(可視化トレーサ利用) 	<p>直接貿易商品におけるCSR監査率</p> <p>2025年度までに 100% (一定のルールあり)</p> <p>2024年度実績 100% (新規取引先等の監査中を除く)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規取引工場に対する適宜検査の実施 ● 初回監査後の2年ごとの更新監査実施
<p>タスク・ダイバーシティ経営の推進</p> <p>能力や知識、経験など目に見えない内面の多様性(タスク・ダイバーシティ)を認め、社員の能力を最大限発揮することのできる環境整備に取り組むことで、企業の持続的な成長につなげます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応の遅れによる従業員のエンゲージメント低下 ● 労働市場流動化による人材の流出 ○ 多様なキャリア人材採用・育成によるイノベーション創出 ○ 柔軟な働き方の導入による活躍機会の提供 	<p>スクロール、グループ全体の女性管理職比率</p> <p>2025年度までにスクロール単体・グループ全体で 30%以上</p> <p>スクロール単体 32.3%</p> <p>グループ全体 30.2% (2025年4月1日時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代女性管理職育成のための継続的な研修の実施 ● スクロールグループ研修の開催(全6回実施、のべ563名参加)(実施テーマ:生産性の向上、AIの活用等) ● 新入社員の育成プログラムの一環としてジョブローテーション実施 ● リスキリング推進のための教育制度の運用
<p>地域社会への貢献</p> <p>社員参加型の活動を通して、持続可能な地域社会の実現に貢献します。また地域社会の発展に資する社会貢献活動を通じて、地域の人々に愛され、信頼される企業を目指すとともに、社員とその家族への心のケアも推進していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会の発展停滞、伝統技能の継承困難 ● 地域社会との交流不足による信頼低下 ○ 地域資源の活用、地域ブランドの発信、地域共生に向けた関係構築 ○ 従業員のモチベーション向上、地域社会からの人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動団体との協働 ● 各拠点における地域貢献の機会創出 	<ul style="list-style-type: none"> ● はままつフラワーパークでの従業員参加のボランティア活動 ● クリスマスイルミネーションの実施および、地域住民を招いたクリスマスパーティーの開催 ● スクロール女性ボランティア基金を通じた社会貢献団体への助成支援 ● 従業員募金制度スクチャリを通じた寄付活動の実施 ● 株主優待制度を通じた静岡県グリーンバンクやスクロール女性ボランティア基金への寄付
<p>コーポレート・ガバナンスの強化</p> <p>経営の効率性、透明性を高め、安全かつ健全な事業活動を通じ、企業価値を最大化することをコーポレート・ガバナンスの基本的な考え方とし、常に最良のコーポレート・ガバナンスを追求し、社是および経営理念に沿ってコーポレート・ガバナンスの充実に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレートガバナンスの対応遅延・不備による信頼低下 ● サイバーセキュリティリスクの増大、情報漏洩リスクへの対応 ○ 経営の透明性確保や対話充実による信頼獲得 ○ 経営の実効性およびリスク管理の強化による事業継続性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレート・ガバナンスコードへの対応拡充 ● 各種要請事項への対応の推進・強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会の多様性確保(取締役10名中女性取締役2名) ● 取締役会実効性評価の実施 ● 独立社外取締役を中心とした取締役会の構成 ● コンプライアンス研修の実施

事業を通じて解決する課題

事業の基盤となる課題